

令和6年度市民提案協働事業 事業報告書

事業名 皆さんで「デフリンピックを盛り上げよう」イベント



1 実施団体

青梅市聴覚障害者協会

2 担当課

障がい者福祉課・スポーツ推進課

3 実施時期

令和6年10月20日（日）午後1時00分～4時30分

4 参加者

131名

5 実施場所

青梅市福祉センター2階 第1～3集会室

6 事業の目的

デフリンピックの知名度を20%上げる。

参加者を100名以上集める。

7 役割分担

・団体の役割

- 映画「みんなのデフリンピック」の上映
- デフリンピック講演
- デフリンピックトークショー
- 国際手話ミニ講座
- 各種準備

・担当課の役割

- 市スポーツイベントにおけるデフリンピックおよび当イベントのPR
- 当日の運営補助

8 事業の効果（どのような地域課題が解決できたか）

市民への2025デフリンピックPR、聴覚障害への理解増進および手話言語の周知ができた。

9 目標達成

事業の目標：来場者数100名

健常者・ろう者を問わず、来場者同士が笑顔で触れ合える場を提供する。

目標の達成具合：来場者数131名

来場者同士で笑顔で触れ合える場を設けることができ、ろう者への理解ができた。また、「デフリンピックを盛り上げたい」と考えてくれる方が大勢いた。

10 事業の実施内容

- ①映画「みんなのデフリンピック」の上映
- ②デフリンピック講演
- ③デフリンピックトークショー
- ④国際手話ミニ講座

11 実施団体と担当課の事業評価

4 はい 3 どちらかといえば「はい」 2 どちらかといえば「いいえ」 1 いいえ

調査項目	団体	担当課
(1) 事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	4	4
(2) 事業に最もふさわしい協働形態が選択された	4	4
(3) 協働の役割分担は適切だった	4	4
(4) 協働相手は適切だった	4	4
(5) 対等な立場での協力関係を築けた	4	4
(6) 協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	4
(7) 事業実施は円滑になされた	3	4
(8) 設定した目標が達成された	4	4
(9) 協働で行うことにより効果がある事業だった	4	4
(10) 今後の課題と改善策をお互いに話し合った	3	3

12 まとめ（今後の課題や改善点など）

・団体側

- 想定以上の来場があり更に広い会場で実施できると尚良かった
- 後方の席で参加された来場者にとっては、スクリーンに映る文字が小さく、見えづらかった

・担当課側

- デフリンピックおよびデフスポーツのPRをすることができたが、関係者以外の一般の方々への周知に課題が残った。
- 市主催イベントにおけるろう者への配慮を見直す機会となり、今後は手話通訳者の手配などを検討していきたい。

13 その他

- 助成金をいただけたことで、イベントのクオリティが上がり、成功につながりました
- 音響など、市職員の方々のご支援、ご協力が助けとなりました。